

武田尾溪谷及びその周辺で得られた興味深い昆虫類

宇野宏樹¹⁾

1. はじめに

筆者は武田尾溪谷で2011年～2020年にかけて採集を行った。本地での採集品のうち、興味深い昆虫(市内初記録種やレッドリスト掲載種その他)を記録しておきたい。本記録が環境調査などの助けとなれば幸いである。

2. 採集方法等

採集方法は、主にJR武田尾駅周辺において、木々のルッキングやスイーピングなどにより行った。また、蛾類や一部の甲虫については夜間街灯に飛来した個体を採集している他、林道にて糖蜜採集を行った。

本報告のデータのもととなる標本はすべて筆者が採集・保管している。またJR武田尾駅付近は宝塚市と西宮市の境界に位置し、遺憾ながらどちらの市かわからなくなった記録があるため、それらの記録は「兵庫県南東部武田尾」として扱った。

各種解説

双翅目

ハルカ科

ハマダラハルカ *Haruka elegans*

2exs., 兵庫県南東部 武田尾, 6. IV. 2016.

糖蜜採集中に木に静止していた個体等を採集した。兵庫県版レッドリスト2012に要調査種として掲載されており、県内では神戸市、宝塚市、川西市、佐用町で記録されている(兵庫県, 2012c)。

ハナアブ科

トゲアリスアブ *Microdon oitanus*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 20. V. 2020.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 28. V. 2020.

すべての文献を参照できたとは思えないので、見落としはあるかもしれないが、本種は「宝塚の昆虫 VI」及び「宝塚の昆虫 VII」には掲載されておらず、宝塚市での記録はあまり多くないと思われる。いずれの記録も、昼間林道を飛翔していた個体を採集したものである。武

田尾溪谷では、他にアリスアブ *Microdon japonicus* も見られる。

Volucella 属の一種

目撃, 兵庫県宝塚市切畑, 26. VII. 2012.

武庫川付近に仕掛けたノムラホイホイを回収していた際に赤茶色のハナアブをトラップ内で見ているが、逃がしてしまった。ニトベベッコウハナアブまたはスズキベッコウハナアブと思われるが、両種とも兵庫県内での近年の記録は少ない(吉田・八木, 2012)ので、再調査が望まれる。

デガシラバエ科

オオハチモドキバエ *Adapsilia luteola*

1ex.(図1), 兵庫県宝塚市切畑 (JR武田尾駅付近) 8. VII. 2015.

昼間、樹木に静止している個体を採集した。似た種にフトハチモドキバエ *Adapsila fusca* があるが、翅の黒色紋が少なく、腿節が黄色であり、複眼が大きいことから本種と同定した。頭部の写真を図1に示す。本種は全国的に記録の少ない種とされている(京都府, 2015)。



図1 オオハチモドキバエ

¹⁾ Hiroki UNO 兵庫県西宮市

膜翅目

ミツバチ科

スジボソフトハナバチ *Amegilla florea*

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町 武田尾, 7. VIII. 2019.

花に飛来していた個体を採集した。本種は兵庫県内では神戸市北区山田町藍那などで記録されている(吉田・八木, 2016)。他の記録として, 筆者は2021年7月24日に西宮市甲山町で本種を1頭撮影している。

直翅目

マツムシ科

クチキコオロギ *Duolandrevus ivani*

1ex. (図2), 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 4. XI. 2019.

本種は兵庫県版レッドリスト2012ではCランクに掲載されており, たつの市, 洲本市, 南あわじ市, 淡路市で記録されている(兵庫県, 2012b)他, 武田尾溪谷ではNPO法人シニア自然大学校研究部・昆虫科(2019)による記録がある。本記録は, 糖蜜採集中に2頭確認され, うち1頭を採集したものである。

半翅目

ナガカメムシ科

セスジナガカメムシ *Arocatus melanostoma*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 1. VII. 2018.

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町 武田尾, 20. V. 2020.

本種は兵庫県内では兵庫県川西市一庫唐松一庫ダムで記録があるが, 県内での記録は多くないと思われる。なお本個体は林縁のスイーピング及びビーティングで採集したものである。

アカヘリナガカメムシ *Arocatus sericans*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 1. VII. 2018.

2exs., 兵庫県西宮市塩瀬町 武田尾, 20. V. 2020.

前種と同じく, 林縁のスイーピング及びビーティングで得た。兵庫県での記録はあまり多く無いと思われる。

鞘翅目

コブスジコガネ科

ヒメコブスジコガネ *Trox opacotuberculatus*

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町名塩 武田尾, 2. IV. 2016.

似た種にムツコブスジコガネなどがあるが, 本個体は前胸背側縁が2波曲すること, 上翅に深い条溝がないことから, ヒメコブスジコガネ *Trox opacotuberculatus* と同定した。本個体は, キブシのスイーピングにより得たものである。なお, 本種は兵庫県既記録種である(塚本ほか, 2009)。



図2 クチキコオロギ

コガネムシ科

コカブトムシ *Eophileurus chinensis*

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町 武田尾, 28. V. 2020.

神戸版レッドデータ2015に要調査種として掲載されているため, 上記の記録を報告する。昼間, 林縁を飛翔していた個体を採集した。

ハンミョウ科

アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata*

5exs., 兵庫県南東部 武田尾, 17. V. 2014.

2exs., 兵庫県南東部 武田尾, 29. IV. 2016.

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町 武田尾, 28. V. 2020.

武田尾溪谷での記録はすでに知られている(森, 2019)が, レッドリスト掲載種であることを考慮し, 筆者の知る近年の状況を報告する。2014年および2016年の記録は武庫川河川敷を飛翔していた個体を採集したもので, 2020年の記録は林縁を歩行していた個体を採集したものである。

カミキリムシ科

シロスジドウボソカミキリ *Pothyne annulata*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 18. VI. 2019.

広葉樹のビーティングにより得た。本種は, 「相生, 西宮, 洲本市, 浜坂町(現新温泉町)などで, ごく少数の記録がある」とされている資料があり(岡田, 2011), 県下での記録が少ないと思われるため, 武田尾での記録を報告しておきたい。

エゾナガヒゲカミキリ *Hirtaeschopalaea nubila*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 18. VI. 2019.

林縁の植物体の上に静止していた個体を採集した。

宝塚市 (1993) によると, 本種は売布ガ丘で灯火に飛来した 1 例しか記録がないとされているため, 上記の記録を報告しておきたい。

タマムシ科

シラホシナガタマムシ *Agrilus decoloratus*

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町名塩 武田尾, 4. VIII. 2012.

本種はトオヤマシラホシタマムシに似るが, 前翅端がとがることから, シラホシナガタマムシと同定した。積まれた丸太の上に来ていた個体を採集した。県下では神戸市, 宍粟郡赤西 (現: 宍粟市波賀町), 養父郡氷の山 (現: 養父市) などで記録されている (高橋, 1998c)。

オオムツボシタマムシ *Chrysobothris ohbayashii*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 20. VII. 2015.

昼間, 武田尾橋の手すりの上でひっくり返っていた個体を採集した。県下では神戸市, 姫路市, 氷上郡 (現: 丹波市), 八鹿町 (現: 養父市), 美方郡温泉町 (現: 新温泉町), 多可郡多可町で記録されている (高橋, 1998b; 松尾, 2020)。

ハムシ科

クロオビツツハムシ *Physosmaragdina nigrifrons*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 13. VIII. 2012.

残念なことに採集時の記憶がない。県下では神戸市, 夢前町, 神埼町, 龍野市 (現: たつの市), 相生市で記録されている (高橋, 1998a)。

タテスジキツツハムシ *Cryptocephalus nigrofasciatus*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 1. VII. 2018.

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 18. VI. 2019.

すべて林縁のスイーピングにより得た記録である。県下での記録は神戸市, 猪名川町, 柏原町 (現: 丹波市 柏原町), 日高町 (現: 豊岡市), 関宮町 (現: 養父市), 浜坂町 (現: 新温泉町), 村岡町 (現: 香美町) などで記録されている。

ヨツモンクロツツハムシ *Cryptocephalus nobilis*

1ex., 兵庫県西宮市塩瀬町付近. 4. VI. 2015.

林縁のルッキングにより得た。県下では宝塚市, 神戸市, 篠山町 (現: 丹波篠山市), 日高町 (現: 豊岡市) などで記録されている (高橋, 1998a; 宇野, 2021)。

ヒゲナガゾウムシ科

ナガフトヒゲナガゾウムシ *Xylinada striatifrons*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 4. VIII. 2012.

残念なことに採集時の記憶がない。県下では, 宝塚市, 美囊郡吉川町 (現: 三木市), 養父郡関宮町 (現: 養



図3 ニッコウエダシャク (黒化型)

父市), 美方郡, 西脇市, 神崎郡などで記録がある (佐藤, 1988; 宝塚市, 1993a; 永幡, 1994; 永幡, 1995; 宇野, 2021)。

鱗翅目

セセリチョウ科

ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 1. VII. 2018.

JR 武田尾駅から川を渡らずに西に向かったところにある林道の開けた部分で得た。本種は大阪府レッドリスト 2014 で準絶滅危惧 (NT) に指定されているため, 隣接する兵庫県の近年の記録として, 報告しておきたい。

タテハチョウ科

ミスジチョウ *Neptis philyra*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 28. V. 2020.

JR 武田尾駅から川を渡らずに西に向かったところにある林道で得た。本種は神戸版レッドデータ 2015 で C ランクに掲載されている。筆者は宍粟市でも本種を採集しているので, 併せて報告しておきたい。

1ex., 兵庫県宍粟市波賀町音水溪谷, 11. VI. 2016. .

カギバガ科

ニッコウトガリバ *Epipsestis nikkoensis*

1ex., 兵庫県南東部武田尾. 15. XI. 2015.

残念なことに, 採集時の状況は覚えていない。高島 (1999) によると, 本種は兵庫県では川西市, 南淡町などから記録があるが, 調査が不十分とされ, 注目種として扱われている。本種は秋季の糖蜜に飛来するため, キリガの調査の際などに注意すれば, 兵庫県内で新たな産地が見つかる可能性はあると思われる。

シャクガ科

ニッコウエダシャク *Lassaba nikkonis* (黒化型)

1ex. (図3), 兵庫県西宮市塩瀬町名塩 武田尾, 23. III. 2016.

夜間街灯の近くの岩に静止していた個体を採集した。

本種の完全に黒化した個体については日本産蛾類標準図鑑 I に記述がある (岸田, 2011) が, 具体的な採集例を示した文献は多くないと思われるので, 上記の記録を報告する。

トギリフユエダシヤク *Protalcis concinnata*

1 ♀, 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 13. III. 2015.

夜間, 糖蜜採集中に木にとまっていた個体を採集した。本種は武田尾溪谷では既記録である (犬飼, 2014) が, 本種は兵庫県では記録は多くないと思われるので発生状況の 1 例として記録しておきたい。なお, 宇野 (2020) ではゆずり葉台緑地公園の本種の記録を「宝塚市からは初記録と思われる」と書いたが, これは筆者の見落としで, 宝塚市の記録は既に前述の犬飼 (2014) で記録されていた。

ヤガ科

マルシラホシアツバ *Edessena gentiusalis*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 10. VI. 2015.

糖蜜に飛来した個体を採集した。本種は, 藤江ほか (2011) で「その他記録の少ない要注目種」の 1 つに挙げられているため, 武田尾の記録を報告しておきたい。

ヤマトホソヤガ *Lophoptera hayesi*

1ex., 兵庫県南東部 武田尾, 20. IX. 2015.

灯火に飛来した個体を採集した。本種は, 岸田 (2011) で「産地は局地的で少ない種である」とされているため, 武田尾の記録を報告しておきたい。なお, 宝塚市では 1984 年に宝塚大橋で記録がある (宝塚市, 1993b)。

アオバセダカヨトウ *Mormo muscivirens*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 10. VI. 2015.

糖蜜に飛来した個体を採集した。兵庫県下では, 「少ない種で, 西播地域からは記録が無く, その他の地域でも産地は点在し採集例も少ない」とされている (高島,

2002)。県下では, 神戸市, 川西市, 黒田庄町 (現: 西脇市), 豊岡町, 柏原町 (現: 丹波市柏原町), 三原町 (現: 南あわじ市) で記録されている (高島, 2002)。

ハイイロセダカモクメ *Cucullia maculosa*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 19. IX. 2015.

灯火に飛来していた個体を採集した。兵庫県下では, 「記録が少なく, 局地的な分布を示す」とされており, 神戸市, 宝塚市, 波賀町 (現: 宍粟市), 黒田庄町 (現: 西脇市) で記録されている (高島, 2001)。

アヤモクメキリガ *Xylena fumosa*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 22. XI. 2015.

糖蜜に飛来した個体を採集した。兵庫県版レッドリスト 2012 において要調査に指定されており (兵庫県, 2012a), 県下では神戸市, 西脇市, 姫路市, 相生市, たつの市, 丹波市, 南あわじ市などで記録がある。

カギモンキリガ *Orthosia nigromaculata*

1ex. (図 4), 兵庫県西宮市塩瀬町名塩 武田尾, 31. III. 2021.

キブシに飛来していた個体を採集した。兵庫県版レッドリスト 2012 において「要調査」に指定されており, 県下では神戸市, 川西市, 佐用町, 洲本市, 南あわじ市, 淡路市で記録があるが, 西宮市の公式の記録はあまりないと思われる。もっとも, 本種が武田尾溪谷に産することは, 一部の愛好家の間では知られており, ひとくく連携活動グループテネラル OB の安達誠文氏をはじめ, 採集している人が他にもいることは付け加えておきたい。

ウスミモンキリガ *Eupsilia contracta*

1ex. (図 5), 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 11. XI. 2015.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 21. XI. 2015.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 12. II. 2016.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 22. II. 2016.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 7. III. 2016.



図 4 カギモンキリガ



図 5 ウスミモンキリガ

本種は武田尾溪谷には産しないとされていたが 安達 (2008), NPO 法人シニア自然大学校研究部・昆虫科 (2019) では 4 月に本種の死骸の記録が報告されている。JR 武田尾駅から西に進んだところにある林道で糖蜜採集を複数回行ったところ, 計 5 頭が得られているので追加記録として報告する。県下では西宮市甲山や神戸市中央区布引公園 (安達, 2008), 三田市有馬富士公園 (阪上ら, 2009) などでの採集例が報告されている。

ヨスジキリガ *Eupsilia strigifera*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 8. III. 2020.

糖蜜に飛来した個体を採集した。県下では, 御津町 (現: たつの市), 安富町 (現: 姫路市), 波賀町 (現: 宍粟市) で記録されている。

ムラサキミツボシキリガ *Eupsilia unipuncta*

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 18. XI. 2015.

7exs., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 22. XI. 2015.

3exs., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 24. XI. 2015.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 29. XII. 2015.

武田尾溪谷に産することは知られている (安達, 2008) が, 具体的な記録を示した文献は多くないと思われるので上記の記録を報告する。本記録は糖蜜に飛来した個体を採集したものである。なお, 本種の幼虫期の食樹は未解明であるため, 雌から採卵を試みようとして交尾済みであろう越冬明けの個体を捕獲するために 2016 年春にも糖蜜採集を行ったが, 越冬明けの個体はあまり糖蜜に飛来しないのか, 採集は叶わなかった。

スミレモンキリガ *Sugitania akirai*

2exs., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 11. XI. 2015.

1ex., 兵庫県宝塚市玉瀬 武田尾, 24. XI. 2015.

糖蜜に飛来した個体を採集した。県下では, 神戸市, 生野町 (現: 朝来市) で記録がある (高島, 2001)。

なお, 上記の記録のうち, ナガフトヒゲナガゾウムシ, クロオビツツハムシ, シラホシナガタマムシの標本は筆者の母校である甲陽学院高等学校生物部に 2013 年~2020 年の間保管されていたが, 思い出し取りに帰り, この度記録されることとなったものである。8 年の間標本を保管してくださり, また 2020 年に訪問した際暖かく出迎えてくださった生物部顧問の谷本雅昭先生に厚くお礼申し上げる。

○参考文献

安達誠文 (ひとはく連携グループテネラル), 2008. 宝塚市武庫川溪谷と西宮市甲山のキリガ相. 共生のひ

ろば. 3: 52-59.

藤江隼平・吉田浩史・安達誠文・吉田貴大・旭 和也・藤原淳一・安岡拓郎, 2011. 佐用町昆虫館周辺の昆虫相 - マレーゼトラップで得られた甲虫目, 膜翅目, 双翅目およびライトトラップで得られた鱗翅目の昆虫について -. きべりはむし, 33 (2): 4-20.

一庫ダム定期報告書 6. 生物 <https://www.kkr.mlit.go.jp/river/followup/jouhou/siryu/pdf/100309/hitoteiki6.pdf>

兵庫県, 2012a. 兵庫県版レッドリスト 2012. アヤモクメキリガ. <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/data/06/53.pdf>

兵庫県, 2012b. 兵庫県版レッドリスト 2012. クチキコオロギ. <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/data/04/15.pdf>

兵庫県, 2012c. 兵庫県版レッドリスト 2012. ハマダラハルカ. <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/data/06/39.pdf>

兵庫県, 2012d. 兵庫県版レッドリスト 2012. カギモンキリガ. <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/data/06/49.pdf>

犬飼 拓展, 2014. 年間蛾類採集記録 2013 年版. SPINDA, 29: 108-117.

川井信矢・堀 繁久・河原正和・稲垣政志, 2008. 日本産コガネムシ上科図説 第 1 巻食糞群 普及版. 昆虫文献六本脚.

岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I. 352pp. 学研教育出版, 東京.

京都府, 2015. 京都府レッドデータブック 2015. オオハチモドキバエ. <https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/bio/db/ins0413.html> (2021 年 7 月閲覧).

神戸市, 2015. 神戸の希少な野生動植物 神戸版レッドデータ 2015. <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/4600/rdb2015.pdf>

松尾隆人, 2020. 多可郡多可町中区高岸で得たタマムシ類. きべりはむし, 43(1): 53-54.

丸山宗利・工藤誠也・島田 拓・木野村 恭一・小松 貴, 2013. アリの巣の生きもの図鑑. 208pp. 東海大学出版会.

永幡嘉之, 1994. 但馬における甲虫数種の採集記録. IRATSUME, 18: 56-57.

永幡嘉之, 1995. ナガフトヒゲナガゾウムシの記録 2 例. IRATSUME, 19: 20-21.

NPO 法人シニア自然大学校研究部・昆虫科, 2019. 武田尾 (宝塚市・西宮市) の昆虫相調査目録. <http://www.sizen-daigaku>.

- com/~mushi2020/2019takedao.pdf. (2021 年 4 月閲覧)
- 大阪府, 2014. 大阪府レッドリスト 2014. 昆虫類. <https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/21490/00148206/6.konchu.pdf> (2021 年 11 月閲覧)
- 岡田浩資, 2011. 兵庫県で記録の少ないカミキリムシ 3 種の採集例. きべりはむし, 34 (1): 22.
- 阪上洗多・船元祐亮・安達誠文・小西堯生, 2009. 須磨鉢伏山と有馬富士公園の興味深いキリガ. きべりはむし, 32 (1): 49-51.
- 佐藤邦夫, 1993. ナガフトヒゲナガゾウムシについて. IRATSUME, 17: 79-80.
- 高橋寿郎, 1987. 兵庫県のツツハムシ (兵庫県甲虫相資料 160). PARNASSIUS, 32: 3-11
- 高橋寿郎, 1998a. 兵庫県のハムシ (2) (兵庫県甲虫相資料・337). IRATSUME, 22: 25-34.
- 高橋寿郎, 1998b. 兵庫県のタマムシ (1), きべりはむし, 26 (1): 13-19.
- 高橋寿郎, 1998c. 兵庫県のタマムシ (2), きべりはむし, 26 (2): 8-13.
- 宝塚市, 1993a. 宝塚の昆虫 IV 甲虫目 (II). 宝塚市教育委員会.
- 宝塚市, 1993b. 宝塚の昆虫 V 蛾類 (II). 宝塚市教育委員会.
- 宝塚市, 1994a. 宝塚の昆虫 VI シミ・カゲロウ・カワゲラ・シロアリ・チャタテムシ・シラミ・アザミウマ・アミメカゲロウ・シリアゲムシ・トビケラ・ハエ. 宝塚市教育委員会.
- 宝塚市, 1994b. 宝塚の昆虫 VII ハチ・アリ・ノミ・(補遺). 宝塚市教育委員会.
- 高島 昭, 1999. 兵庫県のカギバガ科・オオカギバガ科・トガリバガ科 兵庫県産蛾類分布資料・14. きべりはむし, 27(2): 61-75.
- 高島 昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科 (兵庫県産蛾類分布資料・20). きべりはむし, 29 (1): 34-49.
- 高島 昭, 2002. 兵庫県のカラスヨトウ亜科 (その 2) 兵庫県産蛾類分布資料・26. きべりはむし, 30(2): 32-43.
- 塚本珪一・稲垣政志・河原正和・森 正人, 2009. ふんコロ昆虫記 - 食糞性コガネムシを探そう -. 175pp. トンボ出版.
- 宇野宏樹, 2020. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 III. きべりはむし, 43 (2): 21-25.
- 宇野宏樹, 2021. 宝塚市の緑地公園の昆虫相—2010 年～2020 年の昆虫の記録—. きべりはむし, 44 (1): 9-25.
- 吉田浩史・八木剛, 2012. 兵庫県の注目すべき双翅目.